

毎年の3月議会では、新年度の予算が議決されます。新型コロナウイルス感染症対策の予算が入っていなかった令和元年と、感染対策やポストコロナへの取り組みが入った本年度の当初予算を比較し、違いをみてみました。このレポートではその主なものをご紹介します。

池戸一成

市民1人45,000円増加～行政コスト・市民サービス

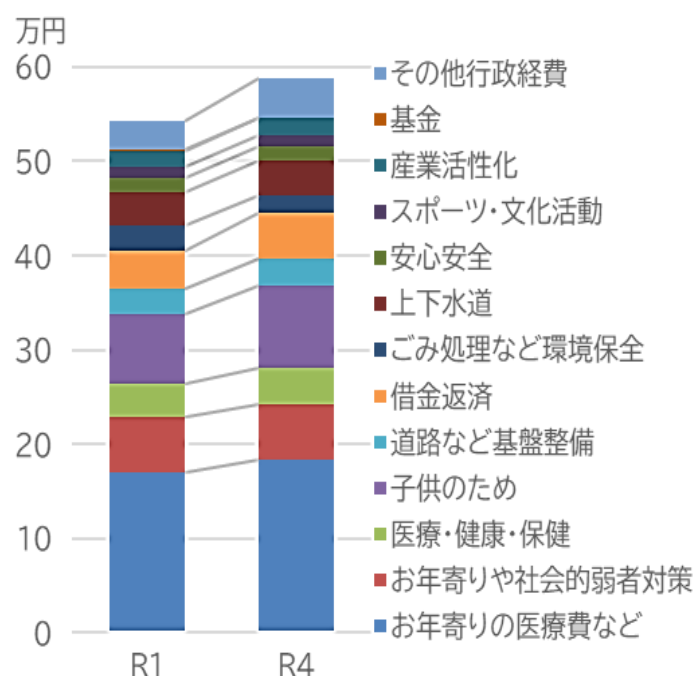
令和元年度と令和4年度の予算を比較

※右グラフをご参照ください

令和4年度の当初予算における『行政コストや市民サービスに充てられる費用』(解説↓)は、総額863億円で市民1人当たり約58.8万円となりました。令和元年度と比較すると市民1人当たり約4.5万円の増加です。

『行政コストや市民サービスに充てられる費用』って？

一般会計・国保・介護保険・後期高齢者保険・水道・下水道の各事業において、さまざまな『市民サービス』や、借金返済や庁舎建て替えなど『行政コスト』に充てられる予算額を一つに合算して、「何に、誰に、いくらつかうか」を独自に計算し直したもので、単純合計した市の発表の数字と異なります。



令和元年度と令和4年度の当初予算を比較した主な増加(減少)の要因は以下の通りです。

	平成元年度	平成4年度	
お年寄りの医療費・介護費など	250.6 億円	269.5 億円	- 介護の需要が増え、施設が増加し、介護サービスの提供が増えたことから、約13.9億円増加しています。 - 後期高齢者の医療費が約6.7億円増加しています。 - 高齢者分のコロナワクチン接種予算も増加要因です。
医療・健康・保険	53.1 億円	55.2 億円	高齢者以外のコロナワクチン接種費が主な増加要因です。ワクチン接種費用は100%国費負担です。
子供のため	109.2 億円	128.0 億円	コロナ感染症対策のため、在宅で授業が受けられるなどの準備が進みます。
借金返済	59.4 億円	72.7 億円	過去の借入の据え置き分の返済がスタートするなど一時的に増加している。約13.3億円増加しています。
ごみ処理などの環境保全	38.5 億円	26.3 億円	し尿処理施設の改修が終わり、約14億円減少しています。
其他行政経費	45.8 億円	60.7 億円	新庁舎建設費用が約11.9億円増加しています。

コロナ感染対策やポストコロナへの取り組み

令和4年度の当初予算の中で、感染予防やポストコロナに向けた事業が、総額で約11億8,700万円あります。その中の主なものをご紹介します。

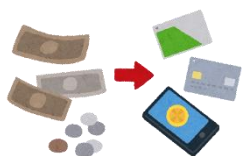
先進的な教育環境を～学校ICT推進事業(約2億658万円)

情報活用能力を磨くことが、文部科学省が公表している「教育の情報化ビジョン」のひとつになっています。最新式ディスプレイの電子黒板などの設備を導入して、今後は動画や画像など多くの情報を駆使した教育手法が進められます。また、コロナ感染拡大が続いたこともあり、授業の大幅な遅れが懸念されたことで、ICT教育がさらに注目されています。



安全に工場見学を～オンライン寺子屋事業(約200万円)

市内の小・中学生に配布してあるタブレットを使って、自宅や学校からオンラインで工場見学を行います。コロナ感染予防をしながら、効率よく学習していただきます。



公共施設の支払いなどが便利に～キャッシュレス決済導入事業(約606万円)

利用者の利便性向上と感染予防のため、各種証明書手数料や公共施設利用料などの窓口支払いに、クレジットカードやペイペイなどによるキャッシュレス決済ができるようになります。

中小企業の支援①～ものづくり事業再構築支援事業(約1億8,660万円)

経産省による補助金に市が上乗せ補助を行い、市内中小ものづくり企業のチャレンジを応援します。

中小企業の支援②～新商品販路開拓支援事業(約508万円)

市内の中小企業が新分野に向けたチャレンジを進める中、新たな商品・サービスの販路開拓を支援するため、クラウドファンディング利用時の手数料を補助します。

中小企業の支援③～中小企業ブランディング事業(約86万円)

市内の中小企業が自社の技術を活かし、製品やサービスをブランド化し、新たな市場を開拓できるよう、セミナーや実践的な勉強会を行います。



地域団体の交流の後押し～地域交流応援補助事業(約1億7,000万円)

コロナ感染により大きな影響を受けている市内宴会場への支援を行うとともに、地域の団体の交流の機会をつくるため感染予防が行われている宴会場を15人以上で利用した場合に、費用の一部を補助します。



文化芸術活動のサポート～文化会館動画配信設備整備事業(約180万円)

密の回避対策をして集会や文化芸術の活動ができるよう、市民会館と文化ホールに動画配信の設備をします。

スマホのアプリとウォーキング

～ICTを活用したウォーキングフレイル予防事業(約270万円)

ウォーキングを通じて高齢者のフレイル予防をするとともに、スマートフォンのアプリを使っていただくことで高齢者のICT利活用を促進します。



3回目のワクチン～新型コロナウイルスワクチン接種事業(約4億900万円)

国からの要請に基づいて、国費負担100%で行われます。

にぎわいの復活へ～かかみがはらおさんぽマルシェ事業(約450万円)

おさんぽ感覚で気軽に楽しめるマルシェイベントを、そら博や市内観光施設で、年間を通じて開催します。

